

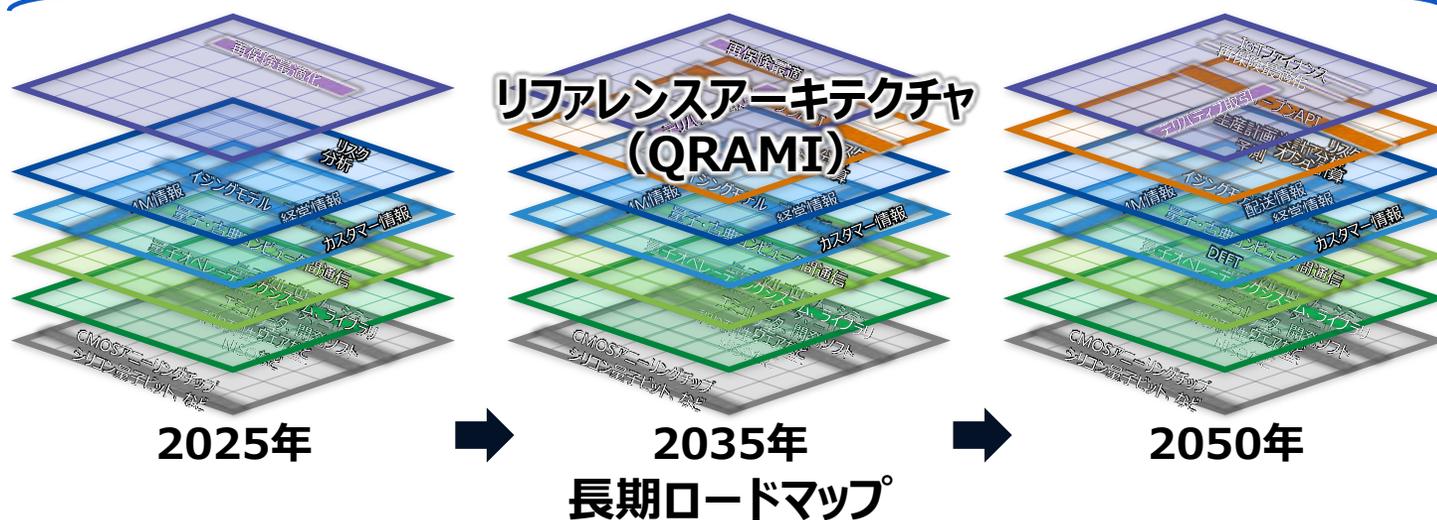
【22年度】新サービスや事業機会のアイデアをバックキャストして長期ロードマップ化

#	テーマとサービス案 (新産業案)	いままで	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度～2029年度	2030年度～2034年度	2035年度～2050年度
【1】長寿社会を見据えた社会保障及び生活インフラの政策立案								
政策面	1.1 PHR利活用の促進				PHR利活用の促進			
	1.2 生活インフラの政策立案、法律整備		ドローン運用にかかわる法案整備		運転免許の刷新		個人の行動データの所有権に関する法律の制定	法整備(事故時の責任所在等)

グループ活動

2～3社で特定テーマを掘り下げて
具体的な事業応用をめざす

部会活動



未来社会における新サービス
事業機会のアイデア

■ 協調領域（非競争領域）での期待

① 量子ハード・ソフト開発（研究→試作→製品化・量産にシームレスに繋がる仕組み）

A) 実験・評価環境（テストベッド、設計・シミュレーション環境）

B) 半導体試作ラインの整備

✓ 設備整備だけでなく、それらの設備・装置が継続して効率よく利用され続けるような運用体制の構築（サービス体制構築、継続的な設備投資、ユーザフィードバックの仕組み）も重要

C) 周辺ハード・サプライチェーンの整備

D) ベンチマーキング手法の整備・標準化

② アプリケーション開発（ユースケースの発掘）

A) フォーカスすべき領域の選定（日本の課題先進性・高齢化など、Society5.0の具体化）

B) 実験・評価環境の整備（効果検証向け特区）

③ 人材確保

A) 流動性確保（国内外を含めた企業・ベンチャー・アカデミア間の人材交流）



Hitachi Social Innovation is
POWERING GOOD